

## 付録

### ディスクを自作しませんか



極細 マーカー

用意するもの

ウレタンフォームのマット 定規で端から 47mm のハサミ、円切カッター 位置に針を刺します。カッターナイフ、長めの針 針は裏まで突き通し



ま



円切りカッターを

半径 45mm にセットします。針の穴を中心にして、円を描きます。徐々に深く切って、



軽く



マットを裏返して

こちら側も軽く円を描きます。こちらも最後は深く切ります。



うまく切り離せました。

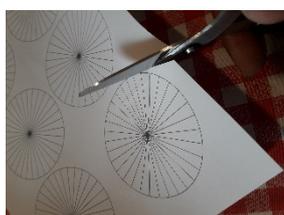


次に、中心の穴を切ります。これも表、裏から同じ要領で、切ります。



中心も切れました。中心を切るときはズレやすいので、注意。

半径 12.5mm が最適です。



次にスロットの型紙を切って準備します。



切り抜いた型紙を両目テープで貼ります。



ディスクに貼りました。



ハサミで切込みを入れます。



次にスロットの



面取りをします。

ハサミで丁寧にとって

おくと使いやすいです。 こんな風にできました。



凹凸のないほうを表に  
して極細マーカーで、  
番号を入れていきます。  
番号は左側のスロットに  
近づけて書きます。



完成です。署名しましょう。

材料のマットは市販のもので、10mm から 14mm くらいのものが適当です。

固めのものが使いやすいでしょう。

この方法で、1枚のマットから9個のディスクが作れます。慣れると短時間でたくさんのディスクが作れるようになるので、ワークショップのときなど役に立ちます。

スロットの切込みは、カッターナイフでも構いません。ハサミを使うほうが怪我の心配が少ないかもしれません。

ハサミはクラフト用のものがあれば最適です。

スロットの面取りを丁寧にしておくと、組紐を組む時にスムーズにできます。

うまくできるようになったら、64スロットや36スロットに挑戦してください。

32条の亀甲組には36スロットが最適です。

64スロットディスクは半径80mm、36スロットでは半径60mmくらいが使いやすいと思います。

10mmのマットをお使いの場合、ちょっと強度が欲しいと思ったら、二枚合わせにしてみましょう。

凹凸のある側を合わせて、強力タイプの両面テープではり合わせると、案外うまくいきます。

このとき、スロット部分に両面テープがかからないようにしてください。

組紐を組む時にべたついて、

うまくいかないことがあります。

スロットの切込みは貼り

合わせたあとで行います。

この時はカッターナイフで

切っていきます。接着剤で

貼り合わせても構いませんが、

このときもスロット部分には

接着剤がつかないほうが、

良いようです。。

